



かながわ湘南西 障福ナビだより



令和 3 年 3 月 31 日 第 112 号

社会福祉法人 常成福祉会 丹沢自律生活センター総合相談室

〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2 ☎ 0463-71-5872 Fax 0463-75-3377 E-mail:soudan@jousei.or.jp

第 2 回湘南西部圏域自立支援協議会 Web 開催

令和 3 年 2 月 17 日（水）に第 2 回協議会を Web で開催しました。当協議会としては初めての試みでしたが、第 1 回協議会で委員の方々に接続環境の整備状況を調査し、その結果を踏まえた調整と委員の方々のご協力により実現しました。

会議では、県、圏域、市町協議会からの報告の他に、第 1 回協議会での報告事例（障害者虐待を受けた行動障害のある方の行き先が見つからず、1泊～2泊程度で短期入所を転々としている事例、本紙第 108 号に関連記事掲載）は、その後も変化がないことが報告さ

れました。その打開に向けて、“県立施設による新たな機能発揮として、民間施設の利用促進を目的とした中期入所による利用者評価と支援の組み立てへのアドバイスの実施”について、また、“広域で短期入所を頻回に利用調整しなければならない方の広域利用調整補助などのコーディネート機能の発揮”について、神奈川県障害者自立支援協議会に提言することになりました。

新型コロナウイルス感染症関連では、第 1 回協議会で、新たに生じている地域課題と今後に向けた方策を取りまとめましたが、今回は、その後の取り組み状況を各委員・オブザーバーから書面で報告いただき共有しました。また、圏域内で実際に起こった以下の 2 つの事例を報告し、保健福祉事務所からコメントをいただいています。

【事例①】新型コロナウイルスの陽性者が出た施設の発生前からの対応経過を追う事例

今年度に入り感染症防止マニュアルを作り、保健福祉事務所から助言を受けて修正していたが、秋には実地検証により更なる助言を受け、職員体制と運営方法を見直していたため、陽性者が発生してから感染が拡大しなかった。対応を通じた学びが多かった。

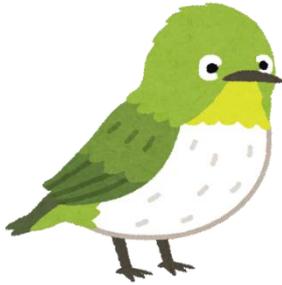
【事例②】家族がコロナ入院し自身は陰性である重症心身障害の方が短期入所協力施設を利用できず、行き先が見つからずに他の陽性の家族が自宅で本人のケアにあたった事例

地域の関係機関がコロナ入院したご家族に代わり、ご本人のケアを引き受けようと東奔西走したが、結果として障害福祉サービスで受け止めることができず、やむなく自宅療養中のご家族が、地域関係者からの電話サポートでしのがざるを得なかった。

事例②は、神奈川県障害者自立支援協議会に対し、“家族がコロナ入院した際に陰性の重症心身障害のある方が利用できる短期入所協力施設の設置”を提言することになりました。



Web 会議の音声トラブルを回避するために



Web 会議は、長引くコロナ禍により着実に開催が増えているようです。圏域協議会で昨年 7 月末に調査した時点で、接続環境も参加経験もなく参加は難しいと答えていた方の中には、年明けの調査の際には、既に参加経験もあり接続環境も整っていると回答された方が多く、今年 2 月の協議会では書面開催を併用する必要がなくなり、Web のみで開催が可能となりました。

3 密を避けた多数同時コミュニケーションのために必要な Web 会議ですが、参加して一番困るのは、何でしょうか。その一番は、画面の向こうで話しているはずの人の声が聞こえないこと、ではないでしょうか。音声のミュート解除を忘れていただけなら誰かが音声でそれを伝えれば良いのですぐに解決しますが、接続環境の影響を受けて、音声途切れ途切れで一部聞こえない場合は、全く別です。それを指摘するために、途中で声を挟むタイミングも慣れないと難しいです。もう一度話してもらったとしても、接続環境は変わっていないので特に変わらず、結局まわりも聞き取れることを諦めてしまいます。会議の進行、成否に影響を与えうる大きなトラブルとも言え、また、よく起こることもあります。開催の目的である多数同時コミュニケーションが不成立となり、参加者のモチベーションが低下するので、なんとしてもこの状況を回避したいところですが、その方の通信環境にはアプローチできません。ではどうすれば良いのでしょうか。

当圏域の Web 会議では、Zoom ミーティングを使用していますが、今年に入ってから、音声途切れがちの方には、電話による別の接続をご案内しています。ミーティングの招待メールには、自動的に生成されるそのミーティング専用の電話接続用の電話番号（国内に設定可能）も別途掲載し、事前にお知らせしています（ホストによる設定が必要）。そして、Web 会議中に音声トラブルが起きた方が、指定の電話番号に電話し、ミーティング ID を入力すると、電話による音声で新たに参加が可能になります。今年 2 月の協議会では、初めて会議中に電話が使用され、重要な事柄を参加者全員で共有することができました。電話接続する際の冒頭で、「“パウンド”を押してください」と受話器からアナウンスが流れますが、この“パウンド”とは、「#」を指していることが解れば、簡単に接続が可能です。音声トラブル回避のために、今後も積極的に活用していく予定です。

第 29 回 神奈川県障害者自立支援協議会 書面開催

令和 3 年 3 月 23 日（火）から書面開催され、意見書提出期間は 30 日（火）までとなっています。協議事項は、「新型コロナウイルス感染症対応から見えた課題について」です。当圏域からは、本紙 1 面掲載の課題について提言しました。また、市町、圏域、県の協議会の 3 層構造を活かした協議とするための神奈川県障害者自立支援協議会の開催時期について意見書を提出しました。開催結果については、本紙第 113 号で必要な事柄をお知らせします。



【あとがき】令和 3 年度がよいよスタートします。当事業所が本事業を受託して 13 年目の始まりでもあります。気づけば最古参です。新年度が、すべての方の希望が叶う年になりますように。